

第二十四回一茶ゆかりの里俳句大会 入賞句

一茶ゆかりの里大賞 遊びある民家の間取風薫る 高山村 佐藤 喜代美

長野県教育委員会賞 子の丈へ風船売りが膝を折り 岐阜県 丹羽 節子

高山村教育委員会賞 醤油樽干して小島の鱈東風 愛知県 平野 辰美

長野県俳人協会賞 ふるさとは真上にありて実梅生る 茨城県 舘 健一郎

須高俳句連盟賞 踊りの輪くづれにはかに迫る闇 千曲市 尾和 有美子

信濃毎日新聞社賞 水打ちて千の夕日を散らしけり 愛媛県 砂山 恵子

須坂新聞社賞 空襲を知る人ばかりの日向ぼこ 埼玉県 小久保 以久

高山村文化協会賞 糶田に一茶の雀来て遊ぶ 山梨県 河西 五十鈴

信州高山村観光協会賞 ここまでと決め切れなくて読む夜長 長野市 中村 雄次

高山村公民館賞 野沢菜を洗ふ出で湯の結ひ暮し 長野市 小林 まこと

高山俳壇賞 夕焼のとろりとしみる海の色 愛知県 村井 範子

高山俳壇賞 硝子戸の中の漱石石露の花 長野市 本多 独川

高山俳壇賞 香水やうつくしき嘘聴ひてをり 高山村 高野 悠子

高山俳壇賞 鉄の鯨の模型雲の峰 長野市 中村 恭子

高山俳壇賞 青嵐耳が溺れてゐたりけり 塩尻市 倉科 繁登

高山俳壇賞 福耳へ雪の張付く一茶の地 長野市 西 幸敏

高山俳壇賞 入れ替はり鳴きに来る蝉一茶堂 山梨県 河西 五十鈴

高山俳壇賞 慰霊碑へ歩める蟻の列つづく 山梨県 新田 宏子

令和二年十月十八日